

梨木建夫君 誕生日北ロータリーゴルフコンペです。メンバーが少ないので参加の方は梨木が本間へまだ大丈夫ですので申し込み下さい、よろしく！

ロータリー財団：

本間建雄美君 我家にも遅い春がやって来ました。長男、長女大学、高校とやっと入れました。

吉田春雄君 長男、長女がそれぞれを中学、高校に進学します。大きくなったものによろこんでいます。

早川龍雄君 長男が無事高校合格しました。あと一人残っております。

卓 話： ロータリー情報委員会定期報告 梨本清一君



ロータリー情報委員会の役割は大きく分けますと二つございます。一つは新会員にロータリーの情報を提供する。今一つは、現会員同士で、情報委員会が音頭をとってロータリーの勉強を時折やりましょうといったような役割かと考えております。

現在2560地区では女性会員は加茂に1人、津川に1人。ロータリー先進地の群馬にはいらっしゃいませんが、最近できた桐生中央ロータリークラブに2人。計4人いらっしゃいます。

新会員のロータリー情報提供は、言わば新入会員オリエンテーションといっても差し支えないと思います。この一年振り返りまして、8月20日と2月12日の2回致しました。これで先週お入りになった長谷川君を除いてすべてオリエンテーションは終了しております。

このオリエンテーションの活動内容をご紹介します。現在のメンバーは平松元会長さんと今井直前会長さんが委員でいらっしゃいました。テーマは決めず、好きな情報を提供して頂きます。因みに申し上げますと、今井さんは、ロータリーは何といても定款細則が基本であるからしっかりマスターして頂くために、きちんとコピーをされて新会員に渡され説明なさるといい、今井さんならではのオリエンテーションです。平松さんは北クラブの創立当時のことをお話になりました。クラブ誕生のとき、大変ご苦労された立役者でございますので、やはり創立の思い出ということになるのでしょう。

樋口元委員長は、ロータリーの出席に非常に力を入れられ、出席できなかった時はこうするんですよといったメイクアップのやり方を非常に細かく統計的に説明され、正にお人柄が出ているといったところでございます。初代会長中条さんはさすが1905年にさかのぼっての話でございます。ポーロハリスフェローという弁護士が現われたというところから鉦山士、炭鉦士、洋服屋さん、ポールハリスとこの4人を全部フルネームでお話になり、今日に至るまでの話をなさる、といったこれもまたお人柄だろうと思うわけでございます。この間平松さんが新会員の皆さんは丁寧に教えてもらって幸せです。僕らはこんなことをしてもらっていないとお話されていらっしゃいました。他の創立

メンバー20数名の方々も同じようなお考えをもっていらっしゃると思いますので、ここで釈明をさせていただきます。

北クラブがまだなかったとき、三条クラブの応援を頂きました。時の会長さんは日戸さん、特別代表岩井さん、総括幹事山本さん、メンバーの野村さん、そうそうたるメンバーの応援を得まして、このロイヤルホテルでも、ロータリーの説明を致し、入会を勧めて参りました。最後の打ち上げは衆楽館で行ったはずであります。実はこれが新会員オリエンテーションでございます。きちんとやったということをご認識頂きたいと思います。私が15年前、三条クラブに入った時、これはしてもらわなかったとふと気付きました。ただ覚えているのは、6月の最終日に会長幹事慰労会を行います。その会にその1年間に入った会員を皆さんにご紹介するということをして頂きました。それが新入会員歓迎というか、オリエンテーションであったわけです。1時間か1時間半でロータリーをよく理解できるはずはないので、むしろその後の飲む席の方が意義があって、それだけでも思い出に残ればオリエンテーションの意義があるのではないかと、三条クラブのあのやり方でいいんだという考えもしているわけです。それがやがて会員になり先輩方とお近づきしている間にロータリーのことを勉強していくことになるのでしょう。私の持論ですが、会長になったら、なった時会長の勉強をすればよい。幹事になったら、なった時幹事の勉強をすればよい、と考えています。すべてをマスターしようとしても無理な話であり、息の長いロータリーライフであります。そのときそのとき、自分のおかれた立場で勉強をやっていくば、後で振り返った時、血となり肉となっていくのではないかと思います。先輩方とのふれ合いの中で「ロータリーの心」を学びとって欲しいと思います。ロータリーの心とは何かというと、ロータリーは教えてくれる場ではなく、自分の方からこれがロータリーの心だと気付かされる。すなわち人間の生き方だと思います。私が入会当時、非常に印象深い人で三条クラブの金子佐武郎さんがいらっしゃいます。雲の上のような近づけない存在の人ですが、ロータリーに入った途端、声を掛けられたのです。大変感激し、同時に上も下もない誰とでも付き合ってくれる寛容さ、人生の謙虚さに気付いたとき、この私は、社員に対して、家族に対して、後輩に対して、どんな付き合い方をしているんだろうかということに気付くのです。その人の生き方を自分で気付かされて生きる事が、ロータリーの心を知ることではないかと思っています。

二番目の役割のロータリー情報の提供についてお話し致します。次年度のテーマは「誠の幸せは人助けから」の英文をご紹介します。なぜ英文にこだわるかと申しますと、英文が直訳されていない日本の文化、日本人の哲学でなければ出来ないような日本語が現われ、興味あるところで。Look Beyond Yourself「自分を越えた眼を」意味深いものがあります。Real Happiness is Helping Others「誠の幸せはたくさんの人達を助けることである」と、こちらは直訳されています。

19、20日登校拒否を考える会が大崎山グリーンスポーツセンターで開かれるという情報を耳にいたしました。本部は新潟にあり、どうして三条で開催されるのか問い合わせましたら、料金が一泊千円で安く、お酒が飲めて、夜中中起きていてもよい、子供の遊ぶ場所がある、あんなすばらしい